

futbol y vida

Poco a poco ...
Poco a poco ...



“堅守”の調布南を最後まで崩せず...
リーグ戦制覇へ全力でチャレンジする!!

選手権予選は、調布南高校の堅守を崩せずに敗退・・・

Team 2021 地区リーグ“優勝&昇格”を目指しラストチャレンジ!!

9月12日（日）、選手権大会東京都予選一次トーナメント二回戦 VS 調布南が板橋区にある城北高校グラウンドで行われました。未明に降った雨の影響でグラウンドコンディションはやや緩くスリッピーでしかも第二試合ということもありグラウンドが荒れることが予想されました。前試合のハーフタイムには、子どもたちとグラウンドチェックをするなど入念な準備をしてゲームに臨みました。また前試合の明治学院戦の反省を活かし、公式戦で自分たちの持っている力を全て出し切ることができるよう二週間トレーニングをしていました。W-up から集中力も高く声も良く出ていて、この試合に懸ける子どもたちの意気込みを感じました。 <二回戦は緑に囲まれた城北高校 G で>



調布南の堅い守備に最後まで諦めずに挑む!!

片倉高校のキックオフで始まりしました。立ち上がりは左サイドから再三チャンスを作ります。そこで得たショートコーナーで相手を揺さぶりますが、この日も課題のシュートが決まらずに序盤のチャンスをもものにできません。その後も GK のビルドアップから全員がボールに絡み相手の隙間を作りそこを狙いますが、ダブルボランチ+4バックの強硬な守備陣を崩し切れません。また、可能性こそ低いのですが、相手の徹底した DF ラインの裏に蹴りそれを信じて走り込むサッカーに時折ピンチを迎えますが、片倉守備陣も慌てずにしっかり対応します。ボールは回すものの荒れたグラウンドにややボールコントロールのところでナーバスになる場面も見られミスも目立ちましたが、ここまで積み上げてきたサッカーでゴールを目指しました。



ところが、前半30分に均衡が破れます。左サイドのロングスローから何度もチャンスを見出していた相手チームの攻撃をクリアしましたが、ボールがヘディングでリターンされると25m先のポストに当たってゴールイン。想定外の展開から先制点を奪われました。その後も、一進一退の攻防が続きますが堅い調布南の守備陣を攻略できません。後半ラストは布陣を変えてギャンブルに出てあと一步のところまで迫りましたが、結局ゴールを奪えずに0-1でタイムアップ。2021 Team の選手権は残念ながらここで終了となりました。

<自信を持って臨んだ調布南戦!!>

2021 Team 選手権の反省を活かしリーグ戦で“有終の美”を飾る!!

残念ながら48期生の選手権は終了しました。過去の実績では常にひとつ先を行く調布南高校をあと一步のところまで追い詰めましたが、結果を導くことはできませんでした。

片倉高校の所属する七地区に於いて同じ都立高校では、①日野台 (T3)、②府中東 (T4)、③三鷹中等 (トップリーグ)、④松が谷・調布南 (トップリーグ前所属) といったチームが常に我がチームの前にいます。最近では、古豪立川高校が復活し結果を出し始めています。どのチームもここに至るまでは一朝一夕に辿り着けるものではありません。長い時間を経て、多くの指導者が関わり、コツコツ積み重ねて現在があります。直ぐに結果が出るものではないのです。しかし、新人戦で松が谷、選手権で調布南と闘い、常に前にいた二校を射程距離に捉えた手応えを十分に感じたと思います。これを子どもたちが自信に変えられるように日々精進して欲しいものです。

さて、選手権敗退後メンバーにはゲームの振り返りを書かせました。

- ・明学戦の反省が活かされアップから集中力が高く全体で「やれる」などポジティブな声が出ていた。
- ・夏休みの暑い中のトレーニングを積み上げてきたことで自信を持って臨むことができた。
- ・調布南とのゲームは自分たちのサッカーができていた。

上記の内容が多く、初戦は極度の緊張感で力を発揮できなかった反省を二回戦では改善されて自分たちのサッカーができたという感触を得たようです。そして、三年生は全員が残りのリーグ戦で全勝してチームを昇格させたい、一・二年生はこの選手権での敗戦の悔しさを次の自分たちの代に生かしていくという目標を書いてきました。また、

この一年間、このチームになって必死になってやってきたからこそ、サッカーを通して見えてきたことや分かったことがある。

という自分自身の成長に繋がったものもいます。

勝たなければならない試合をミスで負けてしまった。その原因は「練習の質」だ。「質」の問題は自分たちに問題がある。大会二日前にコーチからきつく、ありがたい言葉を頂きみんなの気持ちが変わった。本当は三年生が引っ張り、声を掛け部員全員の気持ちを高めさせるのである。決めるところを決められなかったり、前を向かずにボールを下げてしまったり…。練習の時にもっと三年生が声を掛け緊張感のある練習ができていればという後悔がありとても悔しい。1, 2年生にはこの試合を忘れて欲しくない。この悔しい気持ちを取り返すために時間があるので切り替えて欲しい。残りのリーグ戦は全勝して小さな置き土産をする。

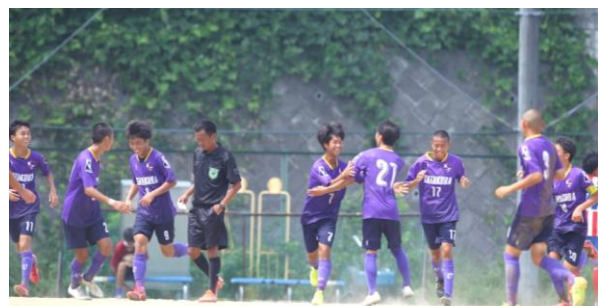
と、敗戦を通して最上級生としての在り方を自覚し再認識したものもいました。

2021 Team は、地区ユースリーグ残り五試合となりました。今回の選手権予選での反省を活かして、48期生にはリーグ戦で“有終の美”を飾って欲しいものです。

<After the Game>

「負けに不思議な負けはなし!!」

選手権予選は敗れましたが、結果を真摯に受け止めてもうひとつの目標であるユースリーグ優勝&昇格に向けて、早速、チームは始動しています。常に前を向いて、「前へ、前へ!!」と前進していきたいと思います。48期生には最後の意地を、気持ちを、結果を出せるように頑張ってもらいたいと思います!!



<リーグ戦でも勝利の歓喜する姿を見たい>